

令和6年度  
すくわくプログラム活動報告書  
(実施対象：4～5歳児クラス)

モニカ新中野園



テーマ

## 表現（紙芝居）

---

### 設定理由

スケッチブックを紙芝居に見立て、絵を描いて保育者や友だちに向けて読むことを楽しむ子どもが多くいた。スケッチブックの他には画用紙を使い、ストーリーを構成し友だちに見せることを楽しんでいたため。

### 対象クラス

4～5歳児クラス・10名

### 活動の狙い

さまざまな物語に触れ  
オリジナルストーリーをつくる

### キーワード

「どうして、そう思ったの？」

### 活動期間

令和6年10月～令和7年2月

### 活動回数

計4回

## 活動①

# 図書館へ行き さまざまな物語に触れる

## 実施日

令和6年10月31日

## 環境構成

2グループ（5人ずつ）に分かれて、自由に紙芝居を見る。  
気に入った紙芝居を周りとは共有し、借りる。

## ▼ドキュメンテーション

### 表現(紙芝居) NO.1

## 私なら…

自分のスケッチブックに絵や文を描いて紙芝居を作る姿が多く見られたので、2グループに分かれて紙芝居を作ることにしました。その為、図書館へ行き、様々な物語の紙芝居に触れてみることにしました。



僕おばけ好きだからこれ読んでみる！



怖いけど面白そう！一緒に見てもいい？

僕が王様だったら…



見たことないから面白い！

これ借りたいな！

それは絵本が保育園にあるから、別のはどう？

J君がこれを借りたいみたいだよ



### どれを借りるか決める時

私動物が好きで、これに沢山でてくるからこれが良い！



じゃあ 僕のはいいよ！

僕は車が好きだから…

私も動物好き！

どれでもいいよ～

図書館には沢山の紙芝居があり、どれを見るかワクワクした表情の子ども達でした。読んでいくと「この話初めて！」「私だったらこうするな～」と、新しい物語に触れ、自分に置き換えて話す姿が見られました。

2024.10.31

## 活動②

# 紙芝居を読み込んで、 登場人物の思いを知る

## 実施日

令和6年12月20日

## 準備物

登場人物の気持ちを場面ごとに考え、  
意見を出し合う。  
思いを理解したり、自分と置き換えて  
比べてみたりする。  
物語を読み込んだ後、その後のストー  
リーを考え作ってみる。

## ▼ドキュメンテーション

### 表現(紙芝居) NO.4

## オリジナルストーリーをつくる

自分たちのスケッチブックを使ってオリジナル紙芝居を楽しむ姿から  
“物語に触れオリジナルストーリーをつくる”という活動が始まりました。



図書館へ行き、様々な物語に触れることで  
知識や想像力を膨らませ、



自分の意見を伝え合い  
自分なりの物語をつくることが  
できました。

最後の鑑賞会では

Kくん 「白鳥が海で遊んでいます」

子どもたち 「すごい。部屋が暗くなったね」  
「青で塗るときれいだね」



Yくん 「読む時にドーン!!って、大きな声を出したから  
足から頭がぞわぞわしたよ」

Aちゃん 「映画館みたいで楽しかった」

Aちゃん 「太陽の絵に顔が描いてあって可愛かった」

計4回の活動を通して様々な物語に出会い、頑張った所や工夫した所を認めてもらう経験になり、  
自信に繋がったと思う。これからもイメージしたものを形にし、自由な表現を楽しんでほしいです。

2025.3.14

### 活動③

## 前回作ったストーリーに合わせて、絵を描く

### 実施日

令和7年1月27日

### 準備物

クレヨン | マーカー | 色鉛筆 | 鉛筆  
絵具 | 画用紙

### ▼ドキュメンテーション

#### 表現(紙芝居) NO.3

## 自由な発想

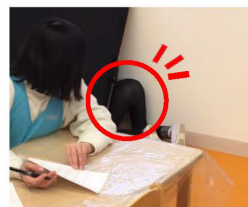
前回考えた物語に沿って、絵を描きました。

#### ① グループ《みにくいあひるのこ》



「わたしは、この場面描くね」と、描く場面をそれぞれ決めて描き始めました。  
「話し合う場面だから集まってるんだよ」と言い、自分で考えて描いていきます。

次の場面を描く子は前の状態を見て、どのように描くかじっくり考えています。



物語に沿って描く場面を決めていると、  
「かくれんぼだから、こんなふう隠れるところ描くの！  
お尻は見えるようにね、みんなが分かるように！」  
と言い、読み手を意識して描こうとする子も。

#### ② グループ《おむすびころりん》

おじいさんがお金を稼ぐ場面で、Yちゃんがどう描くか悩んでいると…

Aちゃん「昔だから洗濯屋さんはどう？」

Yちゃん「う〜ん…」

Aちゃん「お菓子屋さんとか？昔はあったかな？」

Tちゃん、Yちゃん「ないんじゃないかなー？」

難しい場面はアドバイスをし、話し合いながら進めていきます。



「紙芝居の絵を見て描くのもいいと思うよ」という声掛けで、ペンが動き始めた子も。描いてみると考えが浮かんだのか、「おじいさん沢山描いてもいいかも！」と言い、自信を持って描き始めました。



どんな表現にするか自分で決めたり、友だちとアイデアを出し合ったりしながら進めていっています。友だちの言葉掛けで思いつくこともあり、協力して作り上げることができています。

2025.1.27

## 活動④

# 作った作品をOHPで投影し みんなで見る

### 実施日

令和7年3月14日

### 準備物

紙芝居 | メモ用ペン | クレヨン | 絵具  
色鉛筆 | マーカー | OHP

### 環境構成

スクリーンに映して、光で映した紙芝居を見る。  
ストーリーを読み上げ、オリジナルストーリーを楽しむ。

## ▼ドキュメンテーション

### 表現(紙芝居) NO.4

## オリジナルストーリーをつくる

自分たちのスケッチブックを使ってオリジナル紙芝居を楽しむ姿から  
“物語に触れオリジナルストーリーをつくる”という活動が始まりました。



図書館へ行き、様々な物語に触れることで  
知識や想像力を膨らませ、



自分の意見を伝え合い  
自分なりの物語をつくることができました。

最後の鑑賞会では

Kくん 「白鳥が海で遊んでいます」

子どもたち 「すごい。部屋が暗くなったね」  
「青で塗るときれいだね」



Yくん 「読む時にドーン!!って、大きな声を出したから  
足から頭がぞわぞわしたよ」

Aちゃん 「映画館みたいで楽しかった」

Aちゃん 「太陽の絵に顔が描いてあって可愛かった」

計4回の活動を通して様々な物語に出会い、頑張った所や工夫した所を認めてもらう経験になり、  
自信に繋がったと思う。これからもイメージしたものを形にし、自由な表現を楽しんでほしいです。

2025.3.14

使用物

紙芝居 | メモ用ペン | クレヨン | 絵具 | 色鉛筆 | マーカー | OHP

テーマ：表現（紙芝居）

## 全体の振り返り

---

みんなの意見を聞いて物語を考えたり、どんなイラストが良いか想像したりと、他児と協力しながら紙芝居を作ることができた。

話し合いでは途中で飽きてしまう子、アイデアが思いつかない子もいる中、年長児が積極的に意見を出していた。

プロジェクト保育の期間を長く設定してしまい、子どもたちの興味が薄れてしまった姿があった。次回は期間を短く、ねらいを細かくし、一つのことを探究できるようにしたいと感じた。

終



**株式会社モニカ**

〒105-0004  
東京都港区新橋2-12-16 明和ビル7階  
TEL:03-6661-2466  
FAX:03-6661-2467

**モニカ新中野園**

〒164-0011  
東京都中野区中央4-7-14  
TEL:03-6382-8871  
FAX:03-6382-8876